

【指導の重点】自ら学び考えながら、課題に主体的に取り組む子供を育てる。

※「問題解決力」の育成。

教科	学習の現状と課題				目標値【総合】	具体的な授業改善(手だて)
	総合学力調査の結果			課題		
	本校	全国	差			
国語	総合	59.3	66.8	-7.5	65	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文や物語文の読み取りの際に、〇〇字以内に書きなさいといった課題を設定し、問題の形式に慣れさせていく。 ・読書量を増やす取り組みを授業時間内や朝読書の時間を利用して取り入れていく。(ブックトーク・読み聞かせ・担任や児童によるおすすめ本の紹介等)
	基礎	65.6	72.5	-6.9		
	応用	14.8	27.2	-12.4		
算数	総合	61.3	67.4	-6.1	66	<ul style="list-style-type: none"> ・文章題を解く際には求めることと分かっていることに線を引かせ、問題文を正しく把握できるようにする。 ・問題を解く際に問題のどこに着目したらよいのか。既習事項の何を使って考えたら解けそうかを考えさせる。
	基礎	68.6	72.5	-3.9		
	応用	33.3	47.6	-14.3		

教科	学習の現状と課題				目標値 【総合】	具体的な授業改善 (手だて)
	総合学力調査の結果			課題		
	本校	全国	差			
社会	総合	59.0	62.2	-3.2	64	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科以外の学習においても、都道府県に関連する事柄が出てきた時には、日本地図で位置を確認し、定着を図る。 ・家庭学習で都道府県に関するプリントを出す。 ・単元の終末に学習問題の答えを記述する課題をだし、少しずつ記述の仕方に慣れさせていく。
	基礎	66.1	68.6	-2.5		
	応用	35.2	40.7	-5.5		
理科	総合	65.8	71.3	-5.5	70	<ul style="list-style-type: none"> ・重要語句については授業時間内に繰り返し活用する場面を設定し、定着を図る。 ・正答率が低かった単元については家庭学習で補う。
	基礎	70.2	75.6	-5.4		
	応用	46.7	52.3	-5.6		